

平成26年度にエームス試験を実施した物質に関する 遺伝毒性の総合評価について

1 これまでの経緯

(1) WGでの評価及び試験の実施

平成 26 年度の遺伝毒性評価 WG における評価により、

①「エームス試験が実施されていないため、判断保留」又は「(エームス試験は実施されているが) 遺伝毒性の有無の判断困難」とされた物質

②平成 25 年度に実施した構造活性相関で＋の判定となった物質

のうち、試薬の入手可能な 25 物質について、平成 26 年度の委託事業によりエームス試験を実施した。

(2) エームス試験結果の評価

本WG前にWG委員に試験報告書を評価いただいた結果、26 年度実施エームス試験結果の評価は資料 3－2 のとおりである。

25 物質の試験方法はいずれも妥当であり、13 物質が陰性、12 物質が陽性（うち、強い陽性が 8 物質）と判断された。また、陽性の物質の最大比活性値も妥当と判断された。

2 本WGにおける検討事項

【平成 26 年度に実施したエームス試験の結果】及び【遺伝毒性に関する文献調査の結果】を踏まえて、25 物質それぞれについて遺伝毒性の総合評価（①～⑤のどれに該当するか）の判断）を行う。

- ①遺伝毒性なし
- ②弱い遺伝毒性あり
- ③強い遺伝毒性あり
- ④遺伝毒性はあるが、強弱の判断不能
- ⑤遺伝毒性の有無の判断困難